

なら世界遺産・文化かるたで遊ぶ

ねらい

- 世界遺産に興味・関心をもってかるた遊びを楽しむ。
- 「なら」のまちを知り、自分の住んでいる町を好きになる。
- 友達と約束を守って遊ぶ。

対 象

- 二年保育年長児

展開例

幼児の姿	教師の援助
<p>◇祖父母や保護者と一緒にリズム室へ移動する。</p> <p>◇「わー、大きな箱やな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中に入っている物が何なのか、興味津々で見ている。 ・かるたが出てくると <p>◇「あっ、かるたや。」</p> <p>「大きいな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心をもって見ている。 <p>◇「これ大仏さんや。」</p> <p>「小さい組のとき、遠足で見たな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配ってもらった絵かるたを隣同士で見ている。 ・おうちの人と一緒に楽しく取る。 	<p>○幼児の安全に配慮し、広い場でゆっくりとかかわれるようにする。</p> <p>○全員に桐箱を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が入っているのか期待をもつようにし、中に入っているかるたは大切なものであることを知らせる。 <p>○絵かるたを1枚ずつ全員に渡していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かるたの絵に親しみがもてるように、“い”から順番に全員に渡していく。 ・時間がある時は、1枚ずつ紹介していく。 <p>○3つのグループに分かれて、かるた取りをして遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きやすいように広い場になるよう絵かるたを丸く並べるようにする。 ・読み手はグループの中で決め、読む人は最後まではっきりと読むようにし、取った後はみんなに場所と名前が分かるように再確認していく。 ・おうちの方が来られなかった幼児には、教師と一緒にするなど配慮する。 ・なれてくると、幼児と大人のかるた大会など工夫した取組をする。



ほ ほほえみに 心やすらぐ 大仏さま

奈良の大仏として知られる東大寺の「鑑真坐像」は、金剛仏で高さは約17メートルあります。奈良時代に唐の安骨を勧めるために造られ、二度の戦火にあいながらも、そのたびに、多くの人の力で復興し、その鑑真はほほえみを浮かべたお姿を多くの人に愛されています。



そ 空高く 興福寺の 五重塔

興福寺は、南都七大寺のひとつで藤原氏の氏寺として栄えました。五重塔、東金堂、北円堂、三重塔など国宝建築物を伝え、阿修羅像をはじめとした国宝や重要文化財の仏像も数多く残っています。また、空高く、そびえる五重塔の塔高は約51メートルあり日本で二番目に高い古塔で、奈良のシンボルとして親しまれています。興福寺は世界遺産にも登録されています。



る 増殖光の 如来が迎える 新薬師寺

高槻町にある新薬師寺は、奈良時代の本堂と天平朝期の代表作の十二神将立像で知られています。本尊は薬師如来です。この仏は正式には薬師増殖光如来と呼ばれます。



ぬ 壊られた朱 目にもあざやか 朱雀門

朱雀門は奈良時代に天皇の宮殿と国の役所があった平城宮の南の正門で、平成十年に、昔の色を復元されました。高さ約21メートルもある二重櫓のりばい門で朱色がとてもあざやかです。平城宮跡は世界遺産にも登録されています。